

# さみどり

二宮町立一色小学校 学校だより  
平成29年度 第4号(9/13)  
発行者：校長 古正栄司  
一色小学校：0463-71-1543



## 【ゆう山会 下草刈り】 7/22(土)



暑さ厳しい中、地域の方が大勢、道具を手に来てくださいました。一色小学校区地域再生事業の一環で翌日からヤマユリの公開を行う関係で、草刈り機などの機械が使えず鎌で草を刈らなければならなかったり、ヤマユリの保全も意識しながらの作業でした。暑かったせいか、参加した子どもは少なかったのですが、当日、こんなことがありました。



親子で参加したあるお母さんが、「今までにタケノコや梅をプレゼントしてもらったでしょ。今日はその友情の山に恩返しをする日だよ。」と、自分のお子さんに草刈りの大切さを説いて話していたそうです。どうですか？素敵なエピソードだと思いませんか？

「身を美しく(する)」と書いて「躰(しつけ)」。見た目ではなく中身(本質)を大切にします。多様な価値観や高い道徳性・倫理観などは一朝一夕に身に付くものではありません。また、頭で理解するだけでなく、「なすことによって学ぶ」ことが多いと思います。どうぞ、お子さんには実践的に学ぶ機会をたくさんつくってあげてください。

## 【各地区納涼祭・納涼盆踊り大会】

百合が丘、一色、緑が丘それぞれの納涼祭・納涼盆踊り大会に寄らせていただきました。どの地区も活気に溢れていて、改めて地域の結束力の固さを感じました。役員はじめ地域の皆様、本当にご苦労様でした。また、大変お世話になり、有難うございました。



## 【恐ろしい雷】 9/12(火)の防災学習の内容の一つ

雷を伴ったゲリラ豪雨の影響で、多摩川や鶴見川の花火大会が中止になりました。鶴見川花火大会の会場では、ポールに雷が落ち、近くにいた人たちが感電し、病院に運ばれたそうです。

- ・光ってから音がするまでに時間があるから、まだ大丈夫
- ・金属を身に着けていると危険
- ・雷は高いものに落ちるから、高いものの近くにいれば自分には落ちてこないから安全などとよく言われますが、いずれも大きな誤りを含んでいます。雷がポールに落ちたのに、な

ぜ、近くにいた人たちが何人も感電したのか。それは「側撃雷」と呼ばれるものです。ポールに落ちた雷が、近くにいた人に「飛んだ」のです。雷雨の時に「雨宿り」のつもりで大きな木の下や建物の軒下にいると、「側撃雷」を受けてしまうことがあるのです。インターネットなどで簡単に雷に関する最新の知見を調べることができますので、ぜひ一度、調べてみてください。

## 【コミュニティ・スクール】

第2回コミュニティ・スクール準備委員会が、8/31(水)に行われました。各部会からの活動報告や、「コミュニティ・スクール フォーラム」(1/20)開催に向けた話し合いをしました。そのうちの一つを紹介します。

これまで各地区や各団体がそれぞれ自主的に行ってた登下校の際の児童見守り活動を、互いに連携・協力できるよう仕組みを整えてはどうかと考え、各代表の方に9月中に学校に集まっていただき、話し合いを持つことが決まっています。見守り活動の死角となってしまっているエリアはないか、無駄な重なりはないかなどについて協議・情報交換を行います。コミュニティ・スクール化することで立ち上げる「学校運営協議会」をプラットフォームとして、個々に行っていた活動を有機的に結び付けていくことができたらいいなと思います。



また、8/22(火)には校内環境整備の部会とPTA本部、学校とが連携し、中庭の草刈り活動を行いました。平成30年度からは保護者・地域へも広く呼び掛け、実施する予定です。

## 【2学期始業式】 9/1(金)

始業式の「校長先生の話」では、夏休みの振り返りと、『防災の日(9/1)』と絡めて関東大震災やシェイクアウト訓練の話をし、いつ・どこで地震が起きても自分の命を自分で守ることの大切さを語りました。

## 【学校研究(国語)】

今まで以上に子どもたちが読書に親しめるよう、一人ひとりに「読書記録カード」を配り、全校で取り組むことになりました。本を1冊読み終わるごとに、カードに簡単な記録を書き留めます。学年・学級だより等でもお知らせします。ご家庭でもご協力ください。

